

RICOH Value Presentation 2023

“はたらく”に歓びを

～人にやさしいデジタルを全国の仕事場に～

開催期間 7月11日(火) 9:30～
8月 4日(金) 17:30

事前申込 6月20日(火) 9:30～

※ご参加には事前申し込み(無料)が必要になります

事例から学ぶDX



事前
申込

詳しくはこちら

vpre

<https://vpre.ricoh.co.jp/>

紹介者
コード

紹介企業 / 販売店
コード

※こちらのコードの記載がある場合、お申し込み時にコードを入力ください

メッセージ

MESSAGE



変化が激しい時代の中で、さらに成長し続けるためには、現在の働き方を見直すことで生産性を向上させ、より人間らしい創造的な仕事に集中することが求められています。そのために欠かせないのがデジタルトランスフォーメーション(DX)。

私たちリコージャパンには、デジタルを活用して自らの働き方変革へ取り組んだ事例や、お客様の課題解決へのご支援を通じて得られた数多くの事例がございます。

RICOH Value Presentation 2023では、その事例の中から成功ポイントやノウハウも交えてご紹介いたします。

デジタルを活用した先にどのような新しい働き方が待っているのか。

お客様の“はたらく”喜びの実現に向けたDXを一步前へ進めるためのヒントをご提案いたします。

コンテンツ

CONTENTS

新入社員が行く！

“はたらく”の変革と持続可能な社会への取り組み最前線

私たちリコーグループは“はたらく”に寄り添い、変革を起し続けることで、人ならではの創造力の発揮を支え、持続可能な社会の実現を目指しています。この目指すべき社会の実現に向けた最先端の取り組みをリコージャパンの新入社員がレポートします。

“はたらく”を変革するリコーの最新技術や、地域・社会の発展のための教育、ヘルスケア分野でのお役立ち、脱炭素社会・循環型社会に繋がるものづくりなど、社会課題の解決とお客様のビジネスに貢献する取り組みをご紹介します。



リコーの楽しくはたらかNight！

NIGHT CONTENTS

特別
企画

配信時間 7/24(月)~28(金) 19:00~翌9:00

私たちの“はたらく”を考えるトーク番組

人々の求めるライフスタイルが変化し、はたらき方も変わってきています。また、技術の進化によって、人に求められる仕事も変わってきています。そのような時代の中で“楽しくはたらく”ためにはどのようなことが必要なのでしょうか。ワークとライフを両立させるはたらき方、自分自身を成長させるはたらき方、最新技術を活用した進化したはたらき方。リコージャパンの社員の体験や知見から、“楽しくはたらく”ためのヒントをご提供いたします。



DXにおける文脈思考の重要性

DXが重要なのは間違いない。しかし、DXは手段であって目的ではない。DXが重要なのはそれが長期利益を獲得する手段として有効だからだ。さまざまな打ち手を長期利益に向けてつなげていく戦略ストーリーの文脈に位置づけて、はじめてDXは意味と効果を持つ。戦略が先、DXは後 — DXにおける文脈思考の重要性を論じる。

配信日時 7月12日(水) 14:00-15:00

EX-01

登壇者

一橋ビジネススクール
特任教授
楠木 建氏



1964年東京都目黒区生まれ。一橋大学大学院商学研究科修士課程修了。一橋大学商学部専任講師、同大学同学部助教授、ポツコニ大学経営大学院(イタリア・ミラノ)客員教授、一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授、同大学ビジネススクール教授を経て、2023年から現職。“Dynamic Network and Bureaucracy”でMIT-Japan Science and Technology Conferenceの最優秀論文賞(1993)、『ストーリーとしての競争戦略:優れた戦略の条件』でビジネス書大賞(2011)を受賞。

日立グループにおけるIT/DXの推進状況について

日立製作所は、最新のデジタル技術によって進化した「社会イノベーション事業」によって、お客様との「協創」の取り組みを加速し、新たな価値創出、カーボンニュートラルを含めた社会貢献に取り組んでおります。本講演では、グローバルでの「社会イノベーション事業」拡大に貢献するため、IT部門がどのようにIT/DXによる変革に取り組み、今後何をめざしているかについて、2024年日立グループIT中期計画で掲げている施策やデジタル経営基盤構築の取り組みについて、ご紹介させていただきます。

配信日時 7月14日(金) 14:00-15:00

EX-02

登壇者

株式会社日立製作所
執行役常務CIO
兼ITデジタル統括本部長
貫井 清一郎氏



1988年3月一橋大学商学部経営学科卒業後、アーサーアンダーセンアンドカンパニー(現アクセンチュア)入社。以降、主にハイテク製造業における経営戦略・IT・ビジネスプロセスリエンジニアリングに従事。2015年4月より株式会社日立製作所エグゼクティブITストラテジストとして現在のDX戦略のベースへ取り組み。2021年4月同社執行役常務、CIO兼ITデジタル統括本部長として現在に至る。

現場を変える・社会を変える最新テクノロジー ～デジタルツインからChatGPTまで～

製造業から建設業、小売業やサービス業、官公庁などあらゆる企業がDX(デジタルトランスフォーメーション)の実現にせまられています。デジタルツイン、ビッグデータ、そしてChatGPTなどのジェネレーティブAIの力をどう活用し、組織を大きく変革するかについて解説します。デジタル化の波が押し寄せる中、企業がこれらのテクノロジーを用いて価値創造し、競争力を保つための戦略や実践事例を交えてご紹介いたします。変化の激しいビジネス環境で先手を打つための知識を共有する場となる情報提供をいたします。

配信日時 7月19日(水) 14:00-15:00

EX-03

登壇者

日本マイクロソフト株式会社
エバンジェリスト・業務執行役員
西脇 資哲氏



マイクロソフトの業務執行役員であり、多くの最新テクノロジーを伝え広めるエバンジェリスト。「エバンジェリスト」とはわかりやすく製品やサービス、技術を紹介する職種。他にコミュニケーションやデモンストレーションといった分野での講演や執筆活動もを行い、製造業、金融業、官公庁、教育機関などでのプレゼンテーション講座を幅広く手がける。著書に『エバンジェリストの仕事術』、『プレゼンは“目録”で決まる』などがある。

ChatGPT時代のリスクリング ～自社の成長事業を担う人材育成～

2022年度の世界デジタル競争力ランキングでは、日本はついに29位まで下がりました。米国やシンガポールのようなデジタル先進国との格差の原因は、戦略的な人材育成施策であるリスクリングを行なってこなかったことが大きな原因の一つです。またChatGPTのような生成AIの急速な浸透により、従来の業務の自動化が急速に進み、自社の今後の成長事業を担う人材育成が急務となっています。最新トレンドについて触れながら、経営、人事のリスクリング推進に必要な「7つのアクション」をもとに企業のリスクリングの進め方について解説いたします。

配信日時 7月21日(金) 14:00-15:00

EX-04

登壇者

一般社団法人
ジャパン・リスクリング・イニシアチブ
代表理事
後藤 宗明氏



早稲田大学政治経済学部卒業後、1995年に富士銀行(現みずほ銀行)を経て2021年、日本初のリスクリングに特化した非営利団体、一般社団法人ジャパン・リスクリング・イニシアチブを設立。2022年、AIを利用してスキル可視化を行うリスクリングプラットフォームSkyHive Technologiesの日本代表に就任。政府、自治体向けの政策提言および企業向けのリスクリング導入支援を行う。著書に『自分のスキルをアップデートし続ける「リスクリング」』

世界の経営学から見るDXへの視座

コロナ危機を経て、日本企業の経営にさらなる変化・イノベーションが求められています。一方、イノベーションは、世界中の経営学者により科学的な手法で研究が進んでいるにも関わらず、その知見が日本まで十分に届いていません。本講演では、世界の経営学の知見を使いながら、日本企業のイノベーション創出への示唆と、DXとデータ経営について考えていきます。

配信日時 7月26日(水) 14:00-15:00

EX-05

登壇者

早稲田大学大学院
経営管理研究科
早稲田大学ビジネススクール 教授
入山 章栄氏



慶應義塾大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科修士課程修了。三菱総合研究所で、主に自動車メーカー・国内外政府機関への調査・コンサルティング業務に従事した後、2008年に米ピッツバーグ大学経営大学院よりPh.D.(博士号)を取得。同年より米ニューヨーク州立大学バッファロー校ビジネススクール助教授。2013年より早稲田大学大学院早稲田大学ビジネススクール准教授。2019年より教授。「Strategic Management Journal」など国際的な主要経営学術誌に論文を多数発表。

A-01 利用者に向き合う時間を作ろう DXの力で理想の福祉を追求

「利用者一人ひとりに合わせた、寄り添う支援を行う」というポリシーを軸に青森県八戸市に障がい者支援事業を運営する社会福祉法人豊寿会。人手不足にあえぐ福祉業界では利用者の増加に伴い、人材難が大きな課題となっている。デジタルの活用によって職員の負担を軽減し、それぞれの利用者に向かうオーダーメイド型の支援でその幅と質の向上に取り組む豊寿会の事例をご紹介します。

登壇者

社会福祉法人 豊寿会
理事長
分枝 篤史 氏



1989年に知的障がい児・者を中心とする障がい者支援事業を設立し、地域に根差した明るくやかな法人を目指し「利用者一人ひとりに合わせた、寄り添う支援を行う」というポリシーを軸に現在9事業所を運営する。

A-02 デジタルの力で育んだ社員満足と 収益力向上のシナジー

埼玉県を拠点とし公共事業を中心に自社施工で営業力を強化し事業を展開してきた株式会社サンエー緑化。働き方改革の一環として着実に進めていたデジタル化への積極的な取り組みを行い、業務の効率化とスムーズな進行で自治体からの信頼度もアップ。新しい事業の柱を目指し、スマート農業にもチャレンジしながら地元へ貢献する実践事例をお届けいたします。

登壇者

株式会社サンエー緑化
代表取締役
加藤 一利 氏



1975年に創業し、公園や街路樹維持管理、グラウンドの改修工事や補修工事など造園土木業を展開している。早くより社内のICT化への取り組みを行い、業務の進行もスムーズになり、昨今ではもうひとつの事業の柱を目指してスマート農業にも積極的に取り組んでいる。

A-03 老舗企業がデジタル時代に対応 DX推進チームの取り組み

明治時代創業で120年を超える歴史を持つ中田食品株式会社は、梅の産出量が全国1位を誇る和歌山県で、伝統の梅干しづくりの技術と独自の製法を組み合わせ梅干しの商品づくりに携わってきた。ICTを活用することで、より多くの人に愛される梅干しを世に送り出そうとしている中田食品。業務を円滑にする使命を帯びるDX推進チームの取り組み方を、DXに関心を持つ中小企業様にとってお手本になる好事例としてお届けいたします。

登壇者

中田食品株式会社
執行役員 特命改革担当
中田 悠一朗 氏



1997年、紀州田辺に米穀商として創業後、1916年より梅干加工業に進出し、戦後梅干加工専門となる。以来一世紀以上の間、紀州梅を素材に地域伝承の技と独自の製法で漬けた梅干を中心に日本人の味覚と嗜好に合わせた商品を作り続けている。

A-04 我が社にとってもはや必要不可欠！ 手探りで始めたSDGs

SDGsの実践を通じた脱炭素化を目指すGXとDXを同時に進める大阪府堺市の株式会社堀田ハガネ。積極的に取り組むSDGsを通じて地域とのつながりが深まり、社員の会社に対する誇りも生まれ大きな相乗効果をもたらしている。世界にも目を向けた人本経営+SDGs+デジタル活用の未来戦略を実践事例を交えてご紹介いたします。

登壇者

株式会社堀田ハガネ
代表取締役社長
堀田 靖 氏



1956年、大阪府西区にて創業し、特殊鋼、ステンレス鋼の販売・加工・流通の一連の行程を手掛け、含ニッケル銅と呼ばれるニッチな鋼材の販売・加工に取り組む新しい分野の開拓に取り組んでいる。昨今ではSDGsに積極的に取り組み、DXに加えてGXの推進にも力を入れている。

A-05 コロナ禍の危機を デジタル化導入のチャンスに変えた 逆転の発想

古代より続いた砂鉄を利用した製鉄「たたら製鉄」が行われた兵庫県粟粟市に金属加工工場を構える株式会社プラントリイ。IT企業でシステムエンジニアとしてシステム開発に従事した経験を活かし、社長自ら業務システムを開発。デジタル技術を活用して従業員が動きやすい職場環境を作る為、様々な分野でデジタル化を進め、ものづくりの現場を改善してきた事例をご紹介します。

登壇者

株式会社プラントリイ
取締役社長
鳥居 史郎 氏



古代より続いた砂鉄を利用した製鉄が行われた兵庫県粟粟市で鍛冶屋を創業後、この地域で金属加工業に携わってきた。溶接などのものづくり技術を活かして大手電機メーカーの配電盤や制御盤といった電気設備の筐体を製造している。

リコー日本のDX実践事例2023 ～自走する職場の作り方～

J-01

DXを始めたが職場に浸透しない、定着させるにはどうしたら良いか、とお困りのお客様もいらっしゃるのではないのでしょうか。リコー日本も例外ではなく、推進と定着には日々頭を悩ませながら実践しております。そのような中でこれらを解決するポイントの一つに、「自走する職場」の存在があると気づきました。会社の方針や施策を受けた現場がどのようにそれを実行しているのかなど、経営の視点と現場の視点の両者をご覧いただきながら対談形式でご紹介いたします。推進と定着に課題を抱えるお客様にご視聴いただきたい内容です。是非お気軽にご覧ください。

DX実践事例 DXの推進と定着

登壇者

リコー日本株式会社 経営企画本部 DX推進センター
DX戦略室 室長
長井 誠



リコー日本株式会社 デジタルサービス技術本部
事業統括センター kintone/DW支援センター センター長
中野 行雄



リコー日本株式会社 デジタルサービス企画本部
スクラム企画センター スクラムアセット企画室
スクラムアセット企画グループ
荒井 亜祐美



ESGのアプローチで取り組むSDGsへの貢献 ～企業経営に必須となる実践ポイントをお伝えします～

J-02

SDGsやESG(E:環境、S:社会、G:ガバナンス)は企業がビジネスを進めるうえで、必要不可欠な考え方になってきています。こちらのウェビナーではSDGsとESGの違いや関係性について解説します。また、SDGsに取り組む際のポイントを、リコー日本の実践事例をもとにESGの視点からご紹介いたします。

ESG SDGs

登壇者

リコー日本株式会社 デジタルサービス営業本部
和歌山支社 和歌山営業部 和歌山LAグループ
亀岡 直希



リコー日本株式会社 経営企画本部 経営企画センター
コーポレートコミュニケーション部 SDGs推進グループ
高橋 摩衣



リコー日本株式会社 デジタルサービス営業本部
山梨支社 事業戦略部 NB推進グループ
田中 伊代



私たちの身近な取り組み ～経理部門スタッフの業務改善～

J-03

私たちは、社内実践として日々、様々な改善活動を行っています。その一つとして、コミュニケーションによりチームの生産性向上につながる働き方と、効率的なリモートでの働き方を実現しています。この動画では経理部門スタッフのある一日にフォーカスし、情報共有の周知・徹底、コミュニケーション活性化、経費精算におけるワークフローの改善について課題解決に向けた取り組みをご紹介いたします。業務プロセスの見直しや、運用の工夫を行うことで、社員のモチベーションアップに繋がっています。

コミュニケーション ワークフロー改善 ハイブリッドワーク



イチ押しソリューション

はたらきをアップデートしませんか。
ショートドラマ&実演販売士がご紹介

はたらき方をアップデートして、DXへの第一歩！！

わか社もスマートに！？

アナログな業務を賢くデジタル化 S-01

DXの取り組みは進んでいますか？DXがなかなか進まない理由に、紙を必要とする業務が多く残っていることや、表計算ソフトなどのファイルがバラバラに管理されていることで発生する非効率性があげられます。こちらのコンテンツでは、**RICOH kintone plus**を活用した、**業務のデジタル化**や**ファイル・情報の共有**、**管理の方法**をよくあるビジネスシーンの中でご紹介いたします。はたらき方をアップデートして、DXを一歩進めませんか。

はたらき方をアップデートして、DXへの第一歩！！

残業が減った！？

仕事のスピードを上げるデジタル化の秘訣 S-02

DXの取り組みは進んでいますか？紙文書のデジタル化を進めてみても、紙が必要な業務を完全に無くすことは難しい場合があります。こちらのコンテンツでは、**RICOH kintone plus**をさらに活用して、**見積書などの帳票作成**や、**顧客・案件管理など紙文書とデジタルデータをまとめて管理する方法**をご紹介いたします。はたらき方をアップデートして、DXを一歩進めませんか。



事例で分かる

"製造業"のはたらきを効率化する3つのポイントをご紹介 S-03

製造業で扱う**図面**や**注意喚起**などの**掲示物**の「出力業務の効率化」、**図面の加工指示書**などを共有する際の「情報の印刷と共有にまつわるセキュリティの強化」、**納品書**や**請求書**に関わる「ファクス業務の利便性向上」の3本立てで製造業ならではの課題を解決します！

事例で分かる

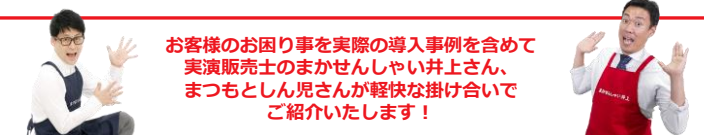
"建設業"のはたらきを効率化する3つのポイントをご紹介 S-04

建設業で扱う**工事案内**や**施工体系図**などの「出力業務の効率化」、**図面**や**作業工程表**などを共有する際の「情報の印刷と共有にまつわるセキュリティの強化」、**納品書**や**請求書**に関わる「ファクス業務の利便性向上」の3本立てで建設業ならではの課題を解決します！

事例で分かる

"福祉業"のはたらきを効率化する3つのポイントをご紹介 S-05

福祉業で扱う**ご家族へのご案内**や**イベントポスター**などの「出力業務の効率化」、**利用申込書**などを共有する際の「情報の印刷と共有にまつわるセキュリティの強化」、**ケアプラン**などに関わる「ファクス業務の利便性向上」の3本立てで福祉業ならではの課題を解決します！



お客様のお困り事を実際の導入事例を含めて
実演販売士のまかせんしゃい井上さん、
まつもとしん児さんが軽快な掛け合いで
ご紹介いたします！

オフィスでも現場でも！ Power Platformを活用したリコーDX実践事例のご紹介！

B-01

リコーでは「はたらく」に「遊び」の実現に向け、はたらく人と機械の協働により、単純作業が自動化され、人はより創造的な業務に集中することができる未来を目指し、デジタル戦略を推進しています。本ウェビナーでは、デジタル戦略を実現するための取り組みをご紹介します。「リコーのDXとは何か」や「デジタル人材の育成はどのように行っているのか」「Power Platformを活用してどのようなアプリを開発したのか」「バックオフィスでも現場でも、業務に応じたDXの取り組みは？」などリコーの取り組みをご紹介します。

製造業のDX

登壇者

株式会社リコー
プロフェッショナルサービス部
ワークフロー革新センター
EDW開発室
ソリューション開発1グループ
エキスパート
中村 健



健康経営優良法人認定企業に学ぶ 建設業の企業価値向上に向けたDXの推進事例

B-02

建設業の時間外労働の上限規制への対応が求められる中、「長時間労働による社員の健康被害を出したくない」との思いから、いち早くDXを推進した業務改善に取り組み、残業時間を月平均30時間から5.4時間まで削減し、従業員の健康と満足度を向上させ、健康経営優良法人プライム500認定を取得するまでにどのようなことを実施したのか。そして、DX推進の取り組みの中で出てきた問題や課題に対して、どのように対応して業務改善を実現したのかをご紹介します。

建設業のDX

登壇者

株式会社斉藤総業
専務取締役
中尾 美紀 氏



店舗DXで売上拡大を実現！ 顧客との繋がりを変えるデジタルサイネージ活用のポイント

B-03

多くの企業がDXに取り組む今、小売業で大きな販促成果を生み出した店舗DX事例が増えています。従来のチラシやポスターを用いた手法は効果測定が難しく、運用面でも配布や貼り替えの手間が発生するなど人材不足に悩む小売業の重要課題となっています。デジタルサイネージ活用により訴求力向上と効率化を図る事ができますが、すぐに大きな成果が出せるわけではありません。本ウェビナーでは、効果検証を繰り返すことで利益につなげ、店舗DXを実現し成果を上げたお客様の事例から、デジタルサイネージ運用のポイントをご紹介します。

流通業のDX

登壇者

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
スマートコミュニケーション
企画センター
サイネージコンテンツ企画室
デジタルサイネージ
事業グループ
篠原 浩



介護現場の改善に取り組んできた管理者が語る！ "介護現場の生産性向上の秘訣"

B-04

業務改善と聞くと「時間がない」「ご利用者との時間が減るのでは？」など、否定的に捉える現場も多いのではないのでしょうか？当社は、トヨタ生産方式をベースとしたオリジナルの業務改善手法を開発し、1施設で月1,050時間の業務削減に成功。間接業務のムダに見える化し、時間帯ごとに波があった業務量を平準化するなど、高い生産性を実現しています。業務改善の取り組みは何故難しいのか？管理者としてどんなリーダーシップが必要なのか？そして今後、介護DXとどのように向き合うべきなのか？そのポイントをご紹介します。

福祉介護業のDX

登壇者

社会福祉法人 若竹大寿会
法人本部
介護老人福祉施設
わかたけ都築 施設長 兼
法人副本部長
山岡 悦子 氏



自治体DXは窓口業務改革から！ 住民サービス向上と職員の業務効率化を同時実現したお客様事例

B-05

市民と行政とのやりとりは従来、紙の書類や窓口を中心に行われ、長い待ち時間や煩雑な書類仕事は住民サービスの満足度に大きな影響を及ぼしています。こうした課題を解決するため、市民中心のデジタル行政サービスの実現に向け、多くの自治体がDX推進を検討しているのではないのでしょうか。本ウェビナーでは自治体の「手続き業務効率化」を中心に、デジタルの力で住民・地域事業者のサービス向上、職員の業務効率化に取り組む先行事例のポイントを解説いたします。さらに自治体DXにおけるリコージャパンの貢献領域もご紹介いたします。

自治体のDX

登壇者

株式会社グラフィアー 事業推進部
Customer Success
宇津木 泉 氏
株式会社グラフィアー 事業推進部
Business Development
中尾 美保 氏



リコージャパン株式会社 パブリックサービス本部
自治体事業部 自治体ソリューション部
自治体DXソリューショングループ
矢野 聡



「書かない窓口」実現にむけた自治体DXのポイント紹介

B-11

自治体の窓口では日々膨大な量の申請書が手書きで作成され、処理にも多大な時間がかかっています。住民側は必要情報を手書きする手間と時間、職員側は記入方法の案内や窓口対応、また手書き文字判読に時間がかかることなどが課題とされています。本ウェビナーでは、これまで手書きしていた申請書の一部を自動的に申請書に印字することで、住民サービス向上と職員の業務を効率化するポイントを分かりやすく解説します。製品開発にあたり人口規模の異なる4つの自治体においての実証実験の評価もご紹介いたします。

自治体のDX

登壇者

株式会社PFU
OWL事業開発統括部
営業企画部
部長
土屋 大介 氏



【事前準備編】電帳法×インボイス制度

B-06

2大法改正への対応と業務効率化・DXの同時実現ウェビナー

2023年10月に迫るインボイス制度の開始、2024年1月より始まる電子帳簿保存法の電子取引保存の完全義務化。しかし、日々の業務に手一杯で、インボイスの登録までは対応したが、その先はまだ。という方も多くいらっしゃるのではないだろうか。そこで本ウェビナーでは、法制度の要点、インボイスを交付するための準備や取引先への確認など、法制度導入前に行うべき具体的な対応を分かりやすく解説いたします。さらに後半では、法対応を完了されたお客様にご登壇いただき、実際の準備の状況やご苦労された点などを紹介いたします。

電帳法

インボイス制度

登壇者

株式会社太明
営業部
開陽丸 武明 氏



リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
EDW企画センター
トレードエコシステム企画室
ソリューション企画2グループ
村田 淳



【運用編】電帳法×インボイス制度

B-07

2大法改正への対応と業務効率化・DXの同時実現ウェビナー

2023年10月に迫るインボイス制度の開始、2024年1月より始まる電子帳簿保存法の電子取引保存の完全義務化。しかし、日々の業務に手一杯で、法対応は後回しになっていませんか。本ウェビナーでは、迫り来るインボイス制度・電帳法へ対応するにあたり、事前準備編を踏まえ、法制度導入後の実務上の影響や受領側の対応方法、電子で送受信した請求書などの保存方法等を分かりやすく解説いたします。また、単なる法対応だけでなく、増加する予想のある業務を効率的に対応するためのソリューションも併せてご紹介いたします。

電帳法

インボイス制度

登壇者

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
EDW企画センター
トレードエコシステム企画室
ソリューション企画1グループ
大谷 奈生



サイバー攻撃事例に学ぶ、被害の甚大さと事後対策の重要性 ～注目の出口対策で万が一の被害を最小限に～

B-08

DX推進により業務のデジタル化が進むにあたりサイバー攻撃の脅威が増えています。万が一、サイバー攻撃により感染してしまった時の具体的な被害、影響を実際の事例とともにご紹介。その被害、影響を最小限に抑えるための事後対策(出口対策)も併せてご提案いたします。

セキュリティ

サイバー攻撃対策

登壇者

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
マーケティングセンター
ITサービス企画室
ネットワークセキュリティ
グループ
田中 洋平



DXの第一歩！申請・承認業務や契約業務の紙&ハンコ、 今こそ見直してみませんか？

B-09

紙やハンコで業務を回しているために、意思決定まで時間がかかったり、社員の業務負担に繋がっていませんか？DX化や働き方改革促進の阻害要因としてよく挙げられる紙とハンコの業務。例えば社内の申請・承認業務や、契約締結業務など社外と取り交わす文書に関連する業務があります。本ウェビナーではこれらの業務を見直し、ワークフローシステムや電子契約の活用で、業務スピード向上や効率化、コスト削減などを実現したお客様の事例をご紹介します。また、私たちリコージャパンの新しい働き方や紙の業務の電子化に関する実践事例もご説明いたします。

ワークフロー改善

電子契約

ペーパーレス

登壇者

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
スクラム企画センター
スクラムパッケージ
第一企画室
働き方改革グループ
藤村 美波



社員のエンゲージメントを高める 新しい働き方とは

B-10

「今日はオフィスに来てよかったな」をサポートするオフィスづくり。リアルでもリモートでもハイブリッドでスムーズに人と情報につながる環境づくり。ワーケーションという働き方の選択肢。リコージャパンはお客様と一緒にその環境づくりを考えご提案いたします。

オフィスづくり

新しい働き方

登壇者

有限会社フォーシーズンズ
Saikaiグループ 取締役
藤田 栄美子 氏



リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
スマートコミュニケーション企画センター
ワークプレイス企画室
WP事業グループ
柳瀬 美幸



リコージャパン株式会社
デジタルサービス営業本部 北海道支社
道北営業部 旭川第一営業所
荒木 智行



安全配慮義務と事業継続計画（BCP）の深い関係 ～安全配慮義務を尽くして事業継続を果たそう～

B-12

企業は法律に基づき、従業員や顧客らの安全に配慮する義務を負います。一方で、企業は利益を上げて事業を継続する必要があります。では、大規模地震などで従業員・顧客らが負傷してしまうことは「やむを得ないこと」と言えるのでしょうか。法律は、そのように考えていません。大規模地震に被災したときでも事業者は従業員・顧客らの安全に配慮する義務を負うのです。自然災害が多発する日本での事業者は、従業員・顧客の安全に配慮しつつ利益を上げて事業を継続する方法を考えてみてください。

安全義務

BCP

登壇者

丸の内総合法律事務所
パートナー弁護士
中野 明安 氏



メタバーズ空間へダイブ！



ブラウザから
そのままアクセス

専用アプリ
VRゴーグル不要

マウスとキーボード
の簡単操作

20の展示コーナーにて お客様の課題を解決するソリューションをご紹介します

7月11日(火)
～24日(月)

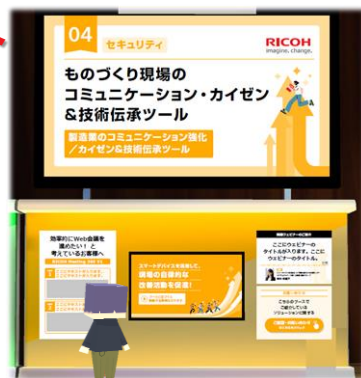
業種ソリューション

製造、建設、流通、ヘルスケア、自治体向けのソリューションを
ご紹介いたします！

7月25日(火)
～8月4日(金)

最新トレンド&関連ソリューション

インボイス制度や電帳法への対応、セキュリティ、DX、環境、
働き方改革を進めるソリューションをご紹介します！



参加型のLIVE配信で 新しいカタチのイベントを体感！

AIや健康経営などトレンドテーマをプレゼン&クイズでご紹介
アバターでクイズに参加、拍手やリアクションで会場にいる他の
アバターと一緒に楽しく盛り上がりましょう！



※画像はイメージです。 ※メタバーズ会場はスマートフォンからはご参加いただけません。PCからのみとなります。
※メタバーズ会場に対応しているブラウザはGoogle Chromeのみとなります。



イベント サイトの 推奨環境	PC からのご利用	OS	Windows	Mac	パソコン 推奨ディスプレイ 解像度 1536 × 864px 以上
		ブラウザ	Windows10以降	Mac OS 11以降	
	スマートフォン、 タブレットからの ご利用	OS	Android	iOS	スマートフォン 推奨ディスプレイ 解像度 750 × 1334px 以上
		ブラウザ	Android ver.10以降	iOS ver.14.8.1 以降	

[補足] ●ブラウザに関しては、最新版のみをサポート対象とします。●いずれのブラウザでもCookie、JavaScriptを有効にする必要があります。

●Windows10については、デスクトップモードで動作確認しております。デスクトップモードでご利用ください。